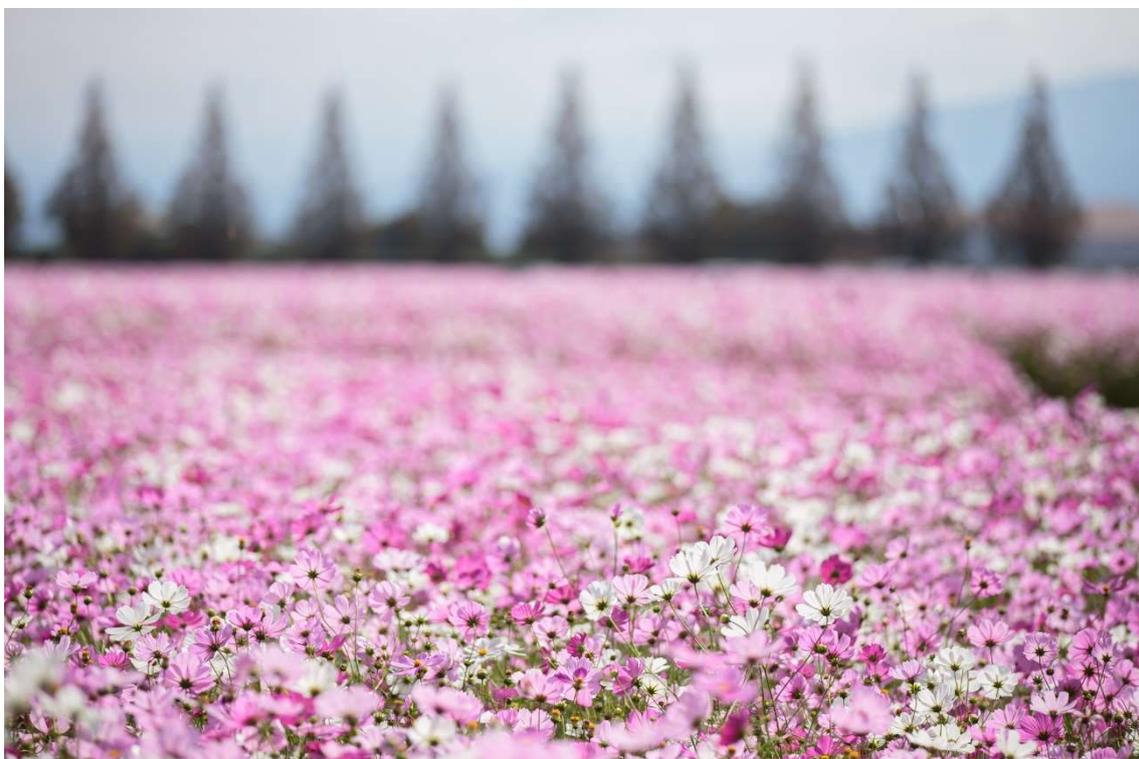


第2章 朝倉市の環境とめざす環境像

1. 朝倉市の概況
2. 朝倉市の誇るべき環境
3. 朝倉市のめざす環境像



■コスモス(市の花)

1. 朝倉市の概況

(1) 自然条件

ア. 位置・地勢

☆ポイント☆

- 朝倉市は、福岡県のほぼ中央部に位置し、交通の利便性が高いと言えます。
- 総面積は 246.71km² です。

朝倉市は、福岡県のほぼ中央部、福岡市の南東約30km、久留米市の北東約20kmに位置し、東は朝倉郡東峰村及び大分県日田市に、西は朝倉郡筑前町及び三井郡大刀洗町に、南は久留米市及びうきは市に、北は嘉麻市に接しています。市域内には3つのインターチェンジがあるほか、九州自動車道と長崎自動車道、大分自動車道を接続する鳥栖ジャンクションに近接しており、九州の物流の中心にも容易にアクセスできる位置にあります。福岡市を中心とする福岡都市圏への近接性から、通勤通学先や都市圏住民の観光による来訪等、多様な人の往来・交流が行われています。

朝倉市は東西 22.9km、南北 17.4km の広がりを持ち、総面積 (246.71km²) は、福岡県全体の約 5 % に相当します。



■朝倉市の位置

イ. 地形・水系

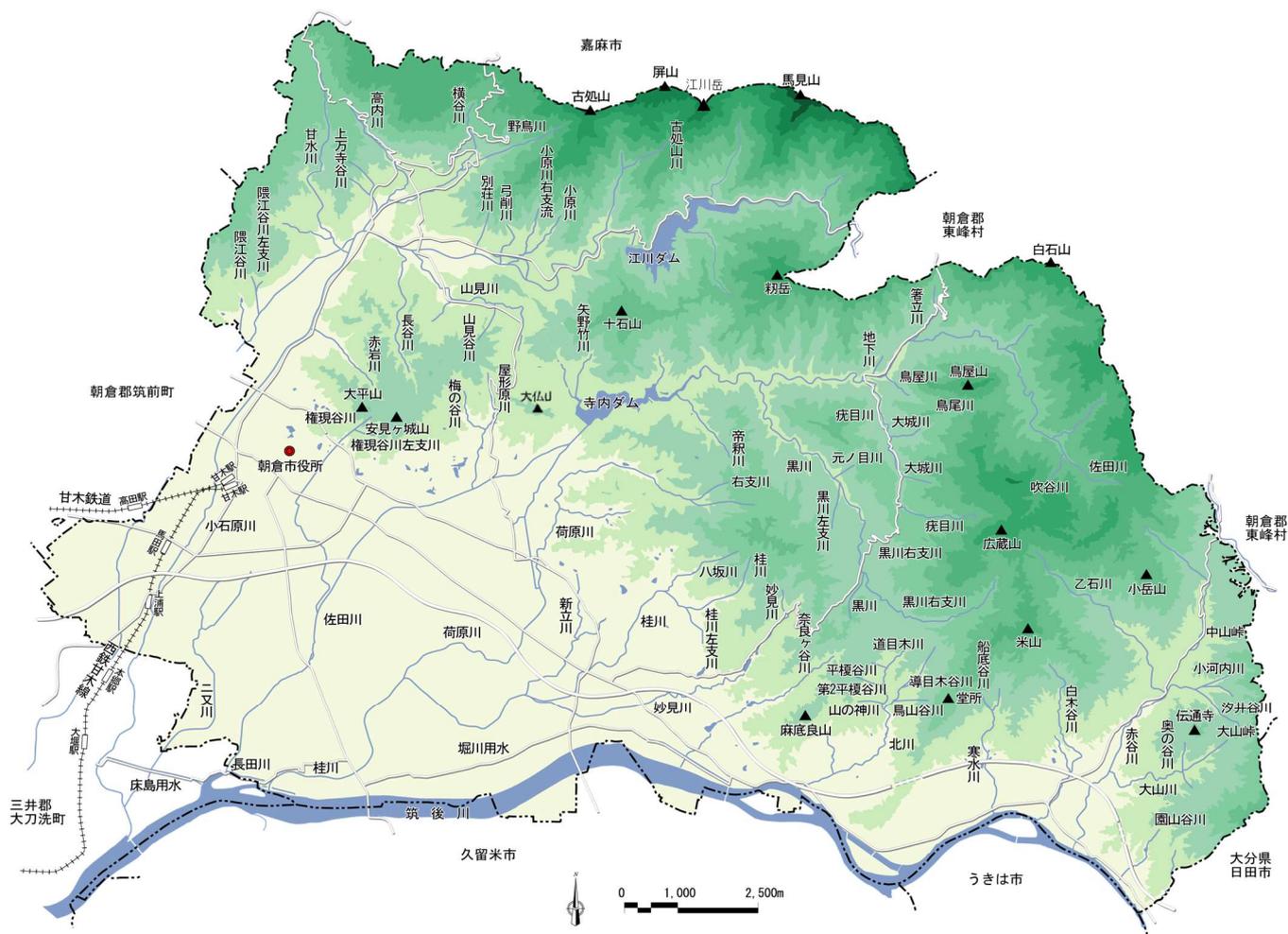
☆ポイント☆

- 市の面積の54.9%を森林が占めています。
- 筑後川を中心に、肥沃かつ平坦な農地が広がっています。

市内を西から南東へと貫く国道386号から南側は平野、北側は古処山や馬見山をはじめとする800～1,000m級の山々が連なっています。朝倉市は、これらの山々を含む森林が54.9%を占めており、みどり豊かな都市という特徴があります。

また、この山地の中に福岡市等の周辺地区への水資源供給の役割を担う江川ダム・寺内ダム、小石原川ダムの3つがあります。

市域南部には市境にほぼ沿うように一級河川の筑後川が流れ、小石原川、佐田川、桂川を中心とした扇状地を形成しており、肥沃かつ平坦な農地が広がっています。



■ 地形・水系図

(2) 社会条件

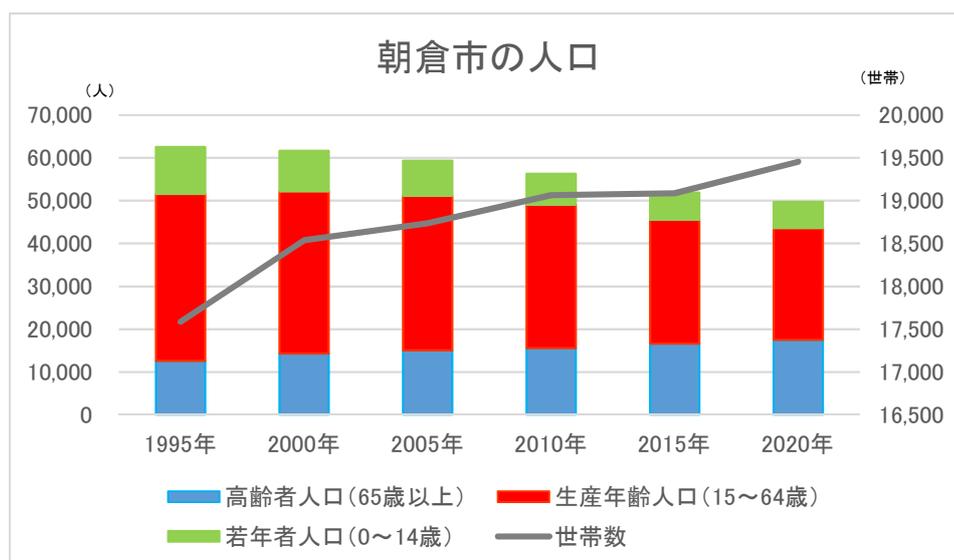
ア. 人口

☆ポイント☆

- 人口は減少傾向にありますが、世帯数は増加傾向にあります。
- 高齢者人口の割合が増えており、少子高齢化が深刻化しています。

令和2（2020）年の国勢調査によると朝倉市の人口は50,273人でした。平成27（2015）年と比較して減少しており、若年人口と生産年齢人口が減っている状況です。平成7（1995）年から比べると人口が2割減っています。また、人口に反比例して世帯数は増加しており、核家族化の傾向が顕著になっています。

年齢別3階層人口は、令和2（2020）年で高齢者人口（65歳以上）が17,523人（34.8%）、若年者人口（15歳未満）が6,071人（12.0%）と少子高齢化が顕著になっています。また、全国の高齢化率は28.6%であり、朝倉市は全国に比べて高いことが分かります。



資料：国勢調査

色	区分	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
■	高齢者人口（65歳以上）	12,566	14,302	15,048	15,560	16,607	17,523
■	生産年齢人口（15～64歳）	39,051	37,879	36,066	33,467	28,952	26,115
■	若年者人口（0～14歳）	10,973	9,501	8,223	7,255	6,307	6,071
	総人口	62,593	61,707	59,385	56,355	52,444	50,273
—	世帯数	17,587	18,540	18,737	19,064	19,088	19,456

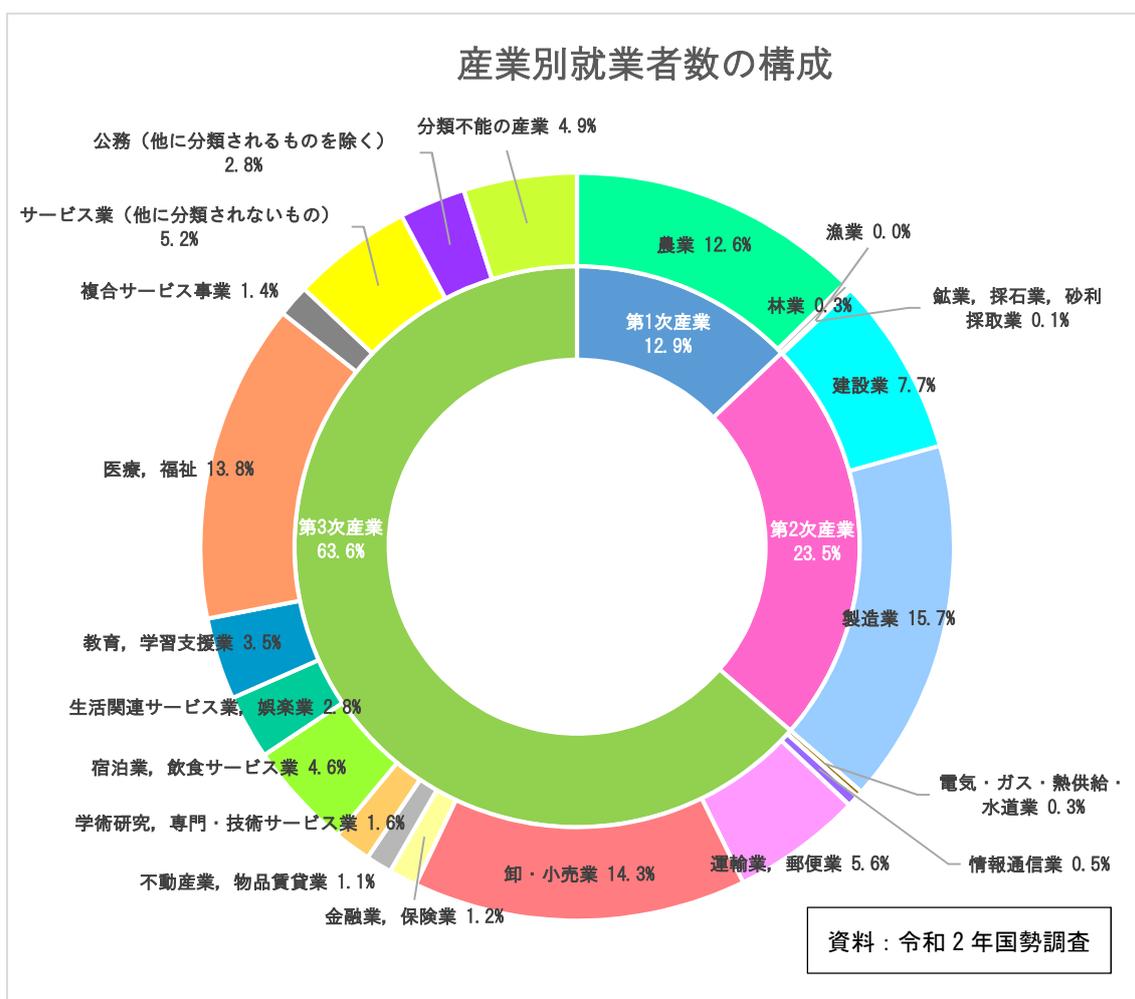
■人口・世帯数の推移

イ. 産業

☆ポイント☆

- 第3次産業の就業者割合が年々増加している一方、第1次産業の就業者割合は年々減少しています。
- 近年、医療・福祉業の就業者数の割合が増加しています。

令和2(2020)年の産業別就業者数の内訳は、第一次産業が12.9%、第二次産業が23.5%、第三次産業が63.6%でした。業種別にみると、就業者割合が多いのは製造業の15.7%で次に卸・小売業の14.3%でした。また、医療・福祉業が増加しており、平成27年の国勢調査より1.4%増えました。高齢化率が進んでいることが、医療・福祉業が増加している要因だと考えられます。



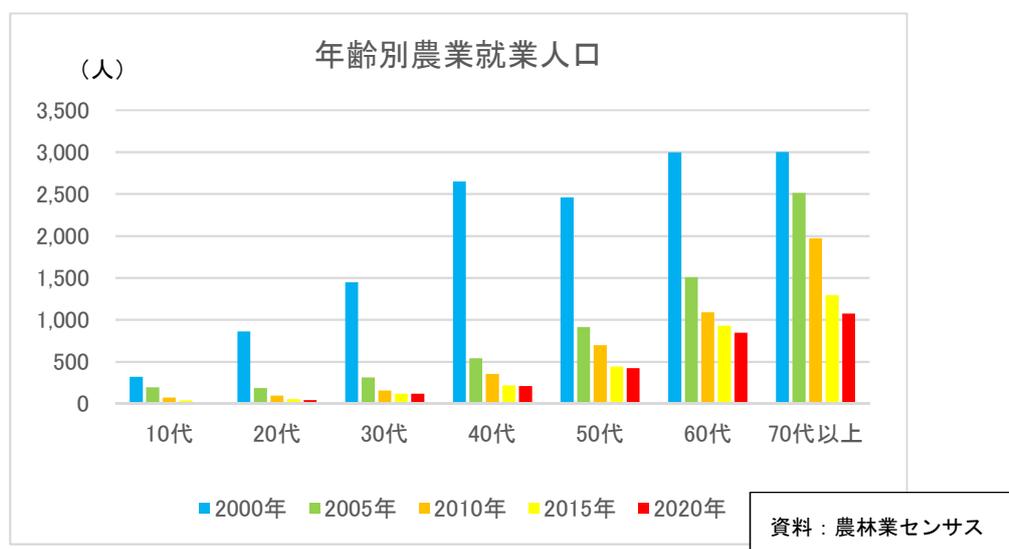
ウ. 農業

☆ポイント☆

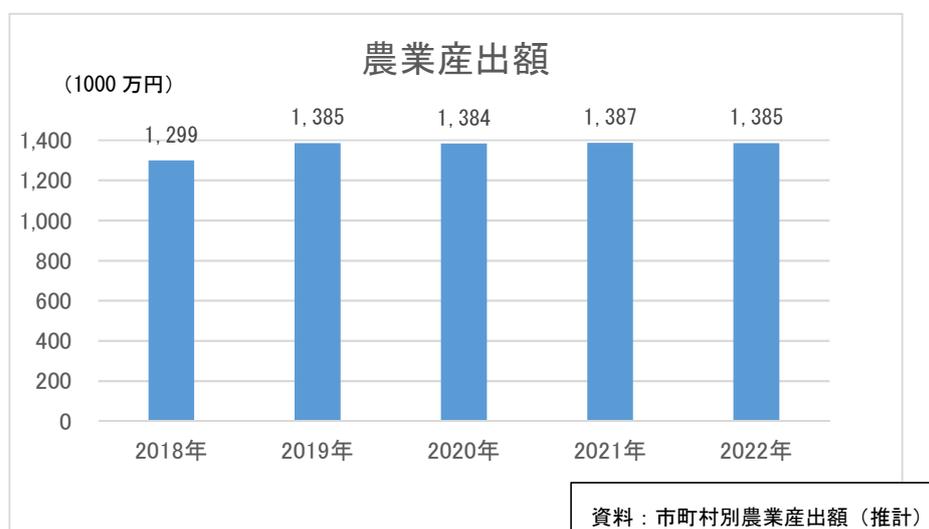
- 朝倉市は、福岡県内でも有数の農業が盛んな地域です。
- 農業産出額は横ばいの状態です。

令和 2 (2020) 年の農林業センサスによると令和 2 (2020) 年の農業従業人口は 2,714 人でした。農業の就業状況を平成 12 (2000) 年から令和 2 (2020) 年を比較すると、平成 12 (2000) 年が 13,734 人であったため 2 割程度に減っています。

また、20 代から 50 代の就業状況が著しく減少しており、少子高齢化と人口減少に伴い今後も農業就業人口が減少していくことが考えられます。



朝倉市の農業産出額は市町村別農業産出額によると、令和 4 (2022) 年で 138 億 5 千万円でした。福岡県内では、第 4 位となっています。産出額の内訳として、野菜が最も多く次いで果実が多い状況となりました。

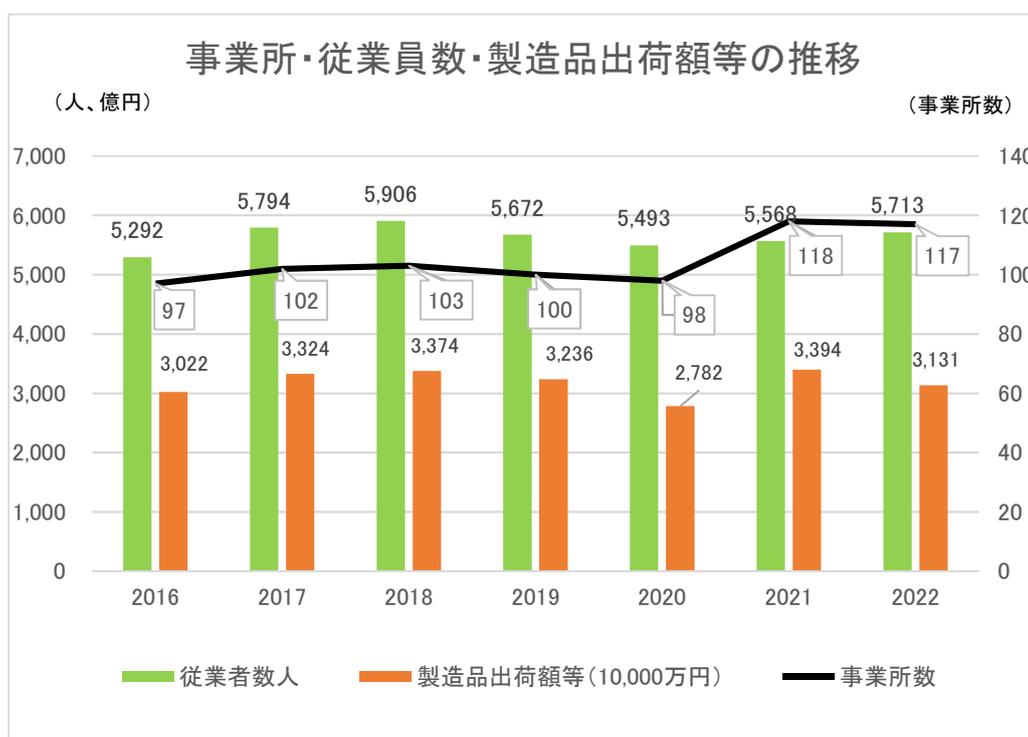


エ. 工業

☆ポイント☆

- 事業所数は増加傾向にあります。
- 製造品出荷額等は、平成 28 (2016) 年～令和 4 (2022) 年にかけて平均で 3,000 億円を超えています。

工業については、事業所数は令和 3 (2021) 年以降増加しています。また、令和 2 (2020) 年は、新型コロナウイルス感染症が 1 月より日本国内で確認されたため、事業所数、従業員数、製造品出荷額等のすべてが減少しています。令和 3 (2021) 年以降、製造品出荷額等については平年並みとなっており、3,000 億円を超えています。



資料:工業統計調査

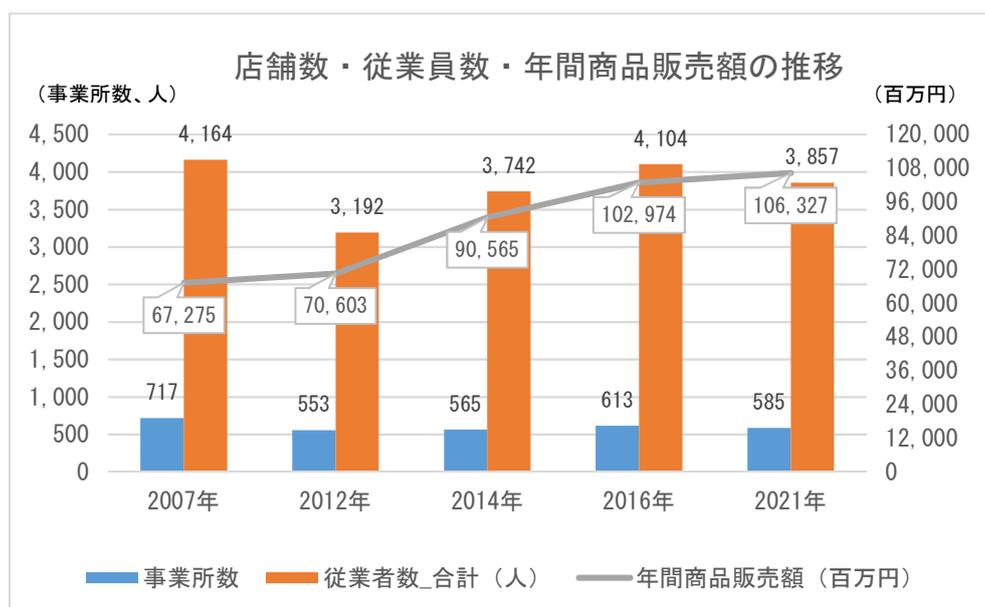
オ. 商業

☆ポイント☆

- 店舗数は平成 19 (2007) 年～平成 24 (2012) 年にかけて大幅に減少しました。
- 平成 24 (2012) 年以降、従業者数・年間商品販売額は増加傾向にあります。

商業統計調査によると、朝倉市での店舗数は平成 19 (2007) 年の 717 事業所より減少しています。従業員数は、平成 24 (2012) 年以降増加傾向にありますが鈍化しています。

店舗数に対して、従業員数と年間商品販売額は増加傾向にあり、令和 3 (2021) 年には年間商品販売額は 1,063 億円、従業員数は 3,857 人でした。



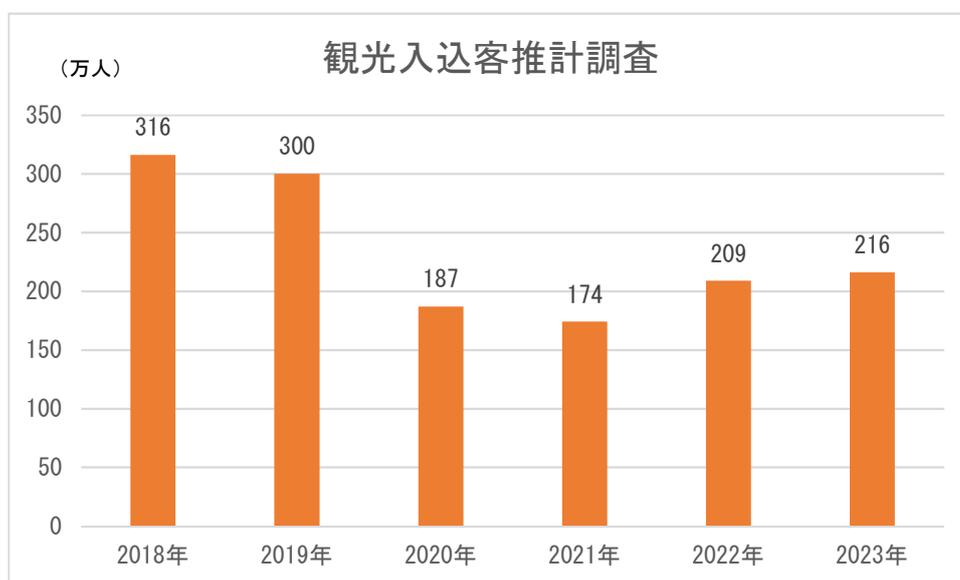
資料: 商業統計調査

カ. 観光

☆ポイント☆

- 観光客数は新型コロナウイルス感染症の流行により減少しましたが、その後、回復傾向にあります。

観光入込推計調査によると、令和3（2021）年に観光客は174万人となっており最も減少しています。新型コロナウイルス感染症の流行が要因であると考えられます。また、令和5（2023）年に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、観光客数が徐々に回復しています。



資料：観光入込客推計調査

※観光入込客数：日常生活環境以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者。

キ. 二酸化炭素排出量

☆ポイント☆

- 令和元（2019）年度に朝倉市から排出された二酸化炭素は 444.2 千 t-CO₂ でした。
- 二酸化炭素排出量のうち、約 43%が産業部門から排出されています。

朝倉市で排出される二酸化炭素排出量は、平成 26（2014）年度をピークに減少に転じています。平成 25（2013）年度と令和元（2019）年度の排出量を比較するとすべての部門で二酸化炭素排出量は減少しています。令和元（2019）年度は平成 25（2013）年度比で約 29%減少しています。

令和元（2019）年度の部門別二酸化炭素排出量割合では、産業部門（43%）がもっとも多く、次いで運輸部門（26%）が占めています。

(千 t-CO₂)

年度		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2013年度・ 2019年度増減率	
		(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)		
産業 部門	製造業	232	295	205	191	185	178	161	-31%	
	建設・鉱業	5	5	5	3	3	3	3	-47%	
	農林水産業	39	38	38	30	30	27	27	-31%	
	小計	276	338	247	225	218	208	190	-31%	
業務その他部門		152	150	132	119	107	83	87	-43%	
家庭部門		66	57	50	50	46	31	31	-53%	
運輸 部門	自動車	旅客	54	53	54	55	55	55	53	-2%
		貨物	60	61	61	60	60	61	62	2%
	鉄道	1	1	1	1	1	1	1	-48%	
	小計	116	115	116	116	116	117	115	0%	
廃棄物部門		16	16	16	16	18	18	20	25%	
二酸化炭素排出量		625	677	562	525	505	457	443	-29%	
メタン (CH ₄)	廃棄物分野	1	1	1	1	1	1	1	-15%	
	農業分野	0	0	0	0	0	0	0	-	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	廃棄物分野	1	1	1	1	1	1	1	-6%	
	農業分野	0	0	0	0	0	0	0	-	
温室効果ガス排出量		626.5	678.7	563.7	526.7	506.7	457.8	444.2	-29%	

産業部門：第1次産業（農林水産業）、第2次産業（建設業・鉱業、製造業）の事業活動に伴うエネルギー消費を対象とする。

業務その他部門：業務その他の事業活動に伴うエネルギー消費を対象とする。

家庭部門：家庭におけるエネルギー消費を対象とする。

運輸部門：人や物の輸送に伴うエネルギー消費を対象とする。

廃棄物分野：一般廃棄物中の廃プラスチック及び合成繊維の焼却に伴い発生する二酸化炭素を対象とする。

【コラム】SDGs（エスディーゼーズ）について

朝倉市がより住みやすい、より住みたいというまちになるためには、環境・社会・経済の全てが充実したまちになっていく必要があります。しかし、近年の朝倉市の実情として、度重なる自然災害や少子高齢化、人口減少等の多くの課題に直面しています。

これらの課題を解決していくためには、環境・社会・経済における取り組みを互いに連携させながら、持続可能な社会の実現に向けて、明確な目標（ゴール）を設定することが重要です。

そして、その達成すべき目標として、国や多くの地方公共団体、企業等で用いられているのが、「持続可能な開発目標（SDGs）」です。SDGsは、平成27（2015）年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された平成28（2016）年から令和12（2030）年までの国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

17のゴールの中には、環境基本計画の指標とは直接関係のないゴールもありますが、朝倉市の持続可能な発展に向けて、総合的な課題解決の視点をもって目標達成に向けた施策の展開をめざします。



■SDGsの17のゴール

【資料：国際連合広報センター】

2. 朝倉市の誇るべき環境



秋月城址（黒門）



大平山からの眺望



甘木公園



平塚川添遺跡公園



黄金川

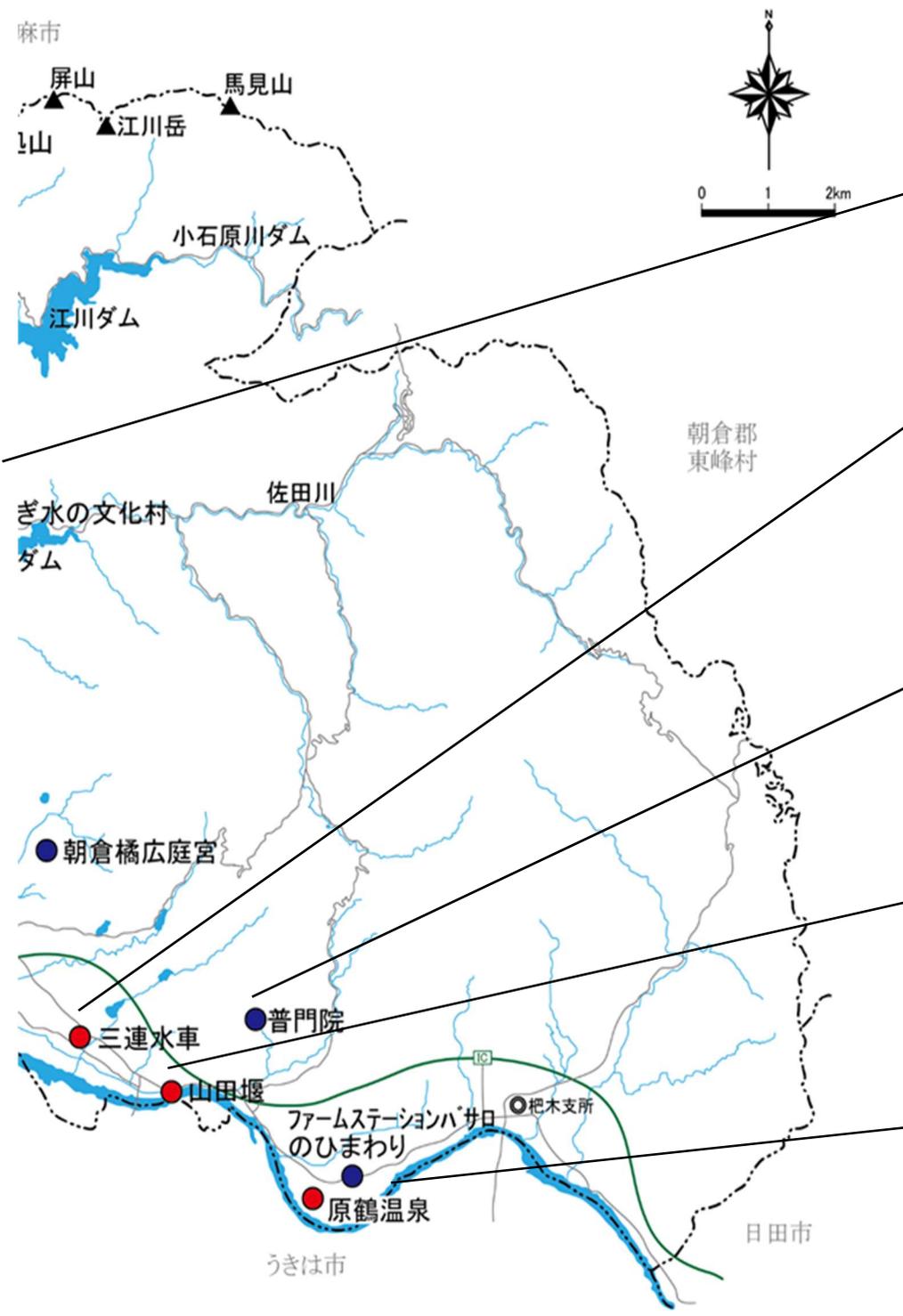


古処山のツゲ原始林



※この地図は、令和6（2024）年に行った市民アンケートで、朝倉市の誇れる景観・みどり・水辺等とその場所を選んだ理由を記入していただいたものを全体集計した結果等をもとに整理しました。

- 市民アンケートで誇れる環境として意見の多かった場所
- 朝倉市を象徴する場所



あまぎ水の文化村



三連水車



普門院



山田堰



原鶴の鶴飼い

3. 朝倉市のめざす環境像

“思いっきり しん呼吸”
天を知り、あさくらを照らす、人づくり

朝倉市には、誇るべき多数の宝があり、市の特徴を踏まえた環境基本計画を策定してきました。

第1次朝倉市環境基本計画の見直しや第2次朝倉市環境基本計画の策定を行う際に、空気をテーマとして朝倉市の環境像をつくり上げました。

私たちは、「思いっきりしん呼吸」できる環境を考え、新鮮な空気や水をつくり出す森林や農地を大切にしてきました。そして、暮らしに浸透した新鮮な空気や水を守り活かしながら、快適な暮らしを育んできました。また、そのために、これまで先人たちが朝倉の自然を活かし築いた歴史や文化を継承し、自然の恵みを大切にする心を育て、環境基本計画の目標の達成に向けた取り組みを進めています。

今回、第2次朝倉市環境基本計画の見直しを行うにあたり、環境に関する課題を再確認しました。環境の現状を見てみると、依然として二酸化炭素の排出による温暖化は地球規模的な課題であり、気候変動による大規模な災害が世界中の至る所で発生しています。このことから、前回テーマにした空気は、今回も引き続き重要なテーマとなっています。

朝倉市においては、九州北部豪雨以降、地形や森林の状況が著しく変化しており、水害や土砂崩れ等の自然災害が私たちの暮らしを脅かしています。私たちは、想定外のスケールで起きる異常気象の中、もっと天（空気・自然）の状況を知り、安全な暮らしを維持するために環境を見直し、森林や農地等の土台づくりをしなければなりません。

一方、朝倉市は、森林や農地によって都市部よりも二酸化炭素吸収量が多く、朝倉市の価値として誇れるものです。今後、森林や農地を適切に維持・管理していくことで、さらに二酸化炭素吸収量を増やすことが可能であり、森林や農地の、ひいては朝倉市の価値を高めることにつながります。

次に、海洋におけるマイクロプラスチックの問題（川や海に住む生き物がエサと間違えてマイクロプラスチックを食べ、体内に取り込んでしまう問題）がクローズアップされてきました。そこで、企業もプラスチック製品の製造・使用から脱却し、自然にやさしい製品の開発をはじめています。

朝倉市は海に接していませんが、この現状を踏まえ、プラスチック製品の使用や処理について見直していく必要があります。具体的には、プラスチック製品の使用量の削減や分別収集の適正化、不法投棄の防止等です。私たちは、地球規模的には海洋等の状況、

身近な場所では、森林や農地、河川や地下水、生活エリアの状況がもっと見える環境づくりを行い、朝倉市が照らされる快適な暮らしづくりをすることが大切です。

自然では、古処山の石灰岩・特別天然記念物※18 ツゲ・ニシキキンカメムシ※19、湧水で育つスイゼンジノリ※20・オキチモズク※21等、歴史・文化では、邪馬台国や卑弥呼への想いを巡らす平塚川添遺跡、中世秋月氏・近世黒田氏の秋月藩の史跡等、先人たちが朝倉市の地勢を活かし築いた歴史・文化は、全国的に誇れるものがあります。

また、朝倉市では、地域の共同体による分別収集等の環境保全活動を通じて、学習や行動ができていました。今後、心の通い合いによって人づくりを行い、朝倉市の環境を**進**歩させ、**真**摯に目標を達成し、この地域活動を未来の子孫へ残していくことを考えていきます。

“思いっきり しん呼吸” 人と自然がひびき合うまち あさくら

呼吸 それは、生きていくために大切な営み・・・
私たちは、思いっきり深呼吸ができる環境を育てていきます。

新呼吸 「新」は、新しく生み出すこと、新鮮さを表します。新鮮な空気や水が、みどりによって生み出され、浄化し、満々と蓄えられ、循環します。

浸呼吸 「浸」は、水が浸ったり、しみこんだりしていることを表します。自然で生み出された空気や水が、暮らしの中で大切にされ、体や物に行き渡っています。

心呼吸 「心」は、気持ちや意志であり、心の通い合いがあることを表します。自然の恵みを大切にす人々の努力と、人と人とのコミュニケーションが息づきます。

朝倉市は、 自然からの素晴らしい贈り物を大切にし、
「あさくら」らしい環境のスタイルを考えていきます。

地球の中の**朝倉市は、** **新鮮**な空気や水 暮らしに**浸透**する恵み
通い合う**心** で呼吸します。

■第1次朝倉市環境基本計画でめざした環境像

